



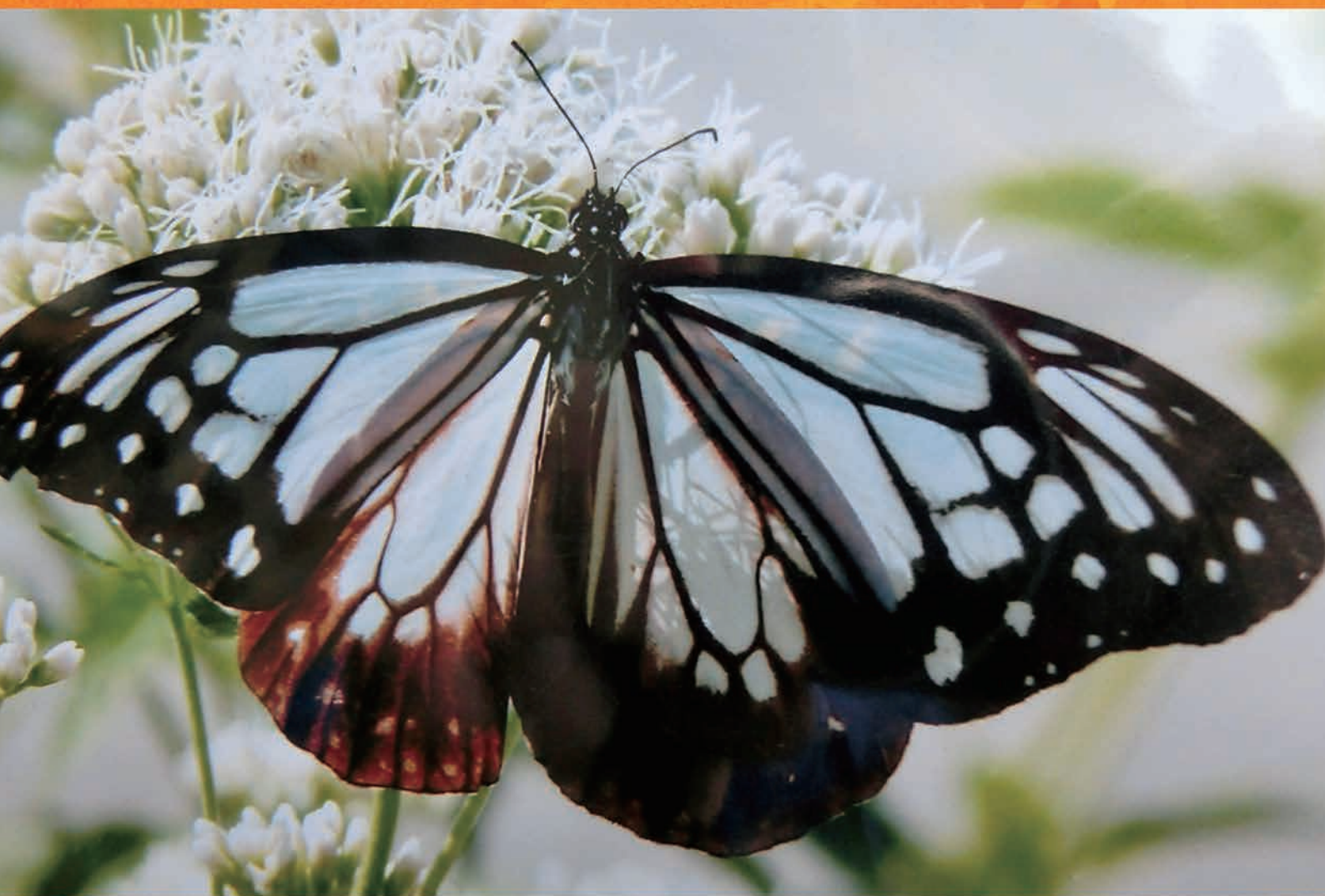
観音寺市議会だより

KAN-ONJI CITY COUNCIL No.19 2018.11.1



ミライエ

観音寺の輝く未来へ
市議会の動きをわかりやすくお伝えします



9月定例会のあらまし 2

一般質問 6

審議結果 11

表紙提供：アサギマダラ飛翔会
春と秋、年に2回吸蜜のため、
観音寺に飛来する渡り蝶です



検索

観音寺市議会

総務委員会報告

9月19日・20日開催

決算認定6議案と補正予算3議案、総務部2議案を審査

- 認定第1号 平成29年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について
- 認定第2号 平成29年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第7号 平成29年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第8号 平成29年度観音寺市栗井財産区特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第9号 平成29年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第12号 平成29年度観音寺市水道事業会計決算認定について

[主な意見]

認定1号については、マイナンバーカード関連や番号システム運営管理の費用は財政的に無駄ではないか。また、同和対策各種団体育成助成事業の補助金の額や支給方法に問題があるなどの反対意見があった。

審査の結果、以上6議案は認定すべきものと決定した。

- 議案第69号 観音寺市税条例等の一部改正について
地方税法などの一部改正に伴い、関係規定を整備するもの

[主な意見]

基礎控除について、所得要件が設けられたことは増税になることから、反対するとの意見があった。

審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定した。

- 議案第70号 観音寺市都市計画税条例の一部改正について
地方税法などの一部改正に伴い、都市計画税の課税標準に関する規定を改めるもの
- 議案第74号 平成30年度観音寺市一般会計補正予算(第3号)

一般会計補正予算(第3号)の概要

2億2,445万1千円増(補正後273億7,603万4千円)

主な歳入

地方特例交付金	918万円
国庫支出金	4,248万円
繰越金	3億7,800万円
地方交付税	△6,620万円
繰入金	△1億5,000万円
臨時財政対策債	△5,430万円

定例会が9月3日から27日までの25日間の会期で開かれた。議案については、開会日に人権擁護委員の候補者の推薦についての議案を同意し、平成29年度決算認定12件、平成30年度補正予算5件、条例関係6件は各常任委員会に付託し、審査した。

一般質問は、2日間にわたり、13人が個人質問として市政についてたずねた。

最終日には、平成29年度決算12件を認定し、その他の議案は原案のとおり可決した。また、追加議案2件が提出され、いずれも原案のとおり同意および可決した。

主な歳出

花稻研修センター施設設備改修事業	588万円
豊浜福祉会館施設設備改修事業	2,396万円
加工・業務用野菜条件整備事業	794万円
単独県費補助土地改良事業	2,187万円
漁港施設維持管理費	824万円
市道舗装新設事業	1,300万円
小学校施設設備整備事業	1,393万円
中学校施設設備整備事業	1,960万円
農業用施設災害復旧事業	4,587万円
農地災害復旧事業	1,320万円
公共土木施設災害復旧事業	1,170万円
予備費	1,959万円

債務負担行為	放課後児童クラブ実施設計委託料	144万円(限度額設定)
	スクールバス停留所整備事業	1,000万円(限度額設定)

●議案第75号 平成30年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)

施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)の概要

1,183万3千円増(補正後1億683万3千円)

主な歳入

繰越金	1,183万円
-----	---------

主な歳出

競輪場管理費	112万円
施設管理等基金費	1,000万円

●議案第77号 平成30年度観音寺市航路事業特別会計補正予算(第1号)

航路事業特別会計補正予算(第1号)の概要

3,034万5千円増(補正後2億7,934万5千円)

主な歳入

繰越金	3,034万円
-----	---------

主な歳出

船舶等維持管理費	878万円
予備費	2,156万円

以上4議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

9月27日開催

総務部 1 議案を審査

- 議案第79号 工事請負契約の締結について
伊吹漁港水産生産基盤(特定)整備事業(東4号防波堤整備工事)の工事請負契約を締結するもの
全会一致で同意すべきものと決定した。

建設経済委員会報告

9月14日開催

決算認定(関係部分を含む) 3議案と補正予算(関係部分を含む) 2議案、建設部 1 議案を審査

- 認定第10号 平成29年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第11号 平成29年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について

以上2議案は、全会一致で認定すべきものと決定した。

- 議案第67号 観音寺市附属機関設置条例の一部改正について
第2次観音寺市都市計画マスタープランおよび立地適正化計画策定委員会を附属機関として新たに設置するもの

- 議案第78号 平成30年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)

公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)の概要

2億7,150万9千円増(補正後16億9,150万9千円)

主な歳入

国庫支出金
繰越金

1,986万円
2億5,574万円

主な歳出

公共下水道事業
予備費

3,198万円
2億3,952万円

以上2議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教民生委員会報告

9月12日・13日開催

決算認定(関係部分を含む) 5議案と補正予算(関係部分を含む) 2議案、健康福祉部2議案、教育部 1 議案を審査

- 認定第3号 平成29年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第4号 平成29年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第5号 平成29年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第6号 平成29年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

以上4議案は、全会一致で認定すべきものと決定した。

- 議案第68号 観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
雇用対策法の一部改正に伴い、関係規定を整備するもの
- 議案第71号 観音寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件に関する規定を改めるもの
- 議案第72号 観音寺市立学校条例の一部改正について
柞田幼稚園、豊田幼稚園および一ノ谷幼稚園を統合し、新たに観音寺中央幼稚園を設置するもの

- 議案第76号 平成30年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

介護保険特別会計補正予算(第1号)の概要

6,332万円増(補正後59億9,032万円)

主な歳入	支払基金交付金	1,234万円
	繰越金	4,956万円
主な歳出	地域介護予防活動支援事業	100万円
	償還金及び還付加算金	2,816万円
	予備費	3,415万円

以上4議案は、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

9月27日開催

教育部1議案を審査

- 議案第80号 平成30年度観音寺市一般会計補正予算(第4号)
債務負担行為の補正で、東公民館建設事業の限度額として2億5,719万8,000円を設定するもの
全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。



大矢一夫

SNSのもっと有効な活用を

答 弁 課題を研究しながら準備を進めたい

【質問】 SNSは頻繁に投稿しないと埋もれてしまうので、ホットメールのように各課からも投稿できるようにすべきであり、イベントだけでなく市内の舗装・水道工事などの情報も発信すべきでは。

【答 弁】 さまざまな情報伝達ツールの中でも、SNSは即時性、拡散性はもちろん、スマートフォンなどの普及率を考えれば非常に有効な手段である。各ツールの特徴を生かした発信方法を研究し、情報を提供することで、本市のPRをしていきたい。

【質問】 ホットメールは市民向けの要素が強いが、フェイスブック・ツイッター・インスタグラムなどのSNSは対外的（市外）PRの要素が強い。インスタグラムに投稿すれば他のSNSと共有できるので活用すべきである。

【答 弁】 公共性や公益性などにより一層配慮したプライバシーポリシーを設定するとともに、継続して発信できる体制づくりが必要であることから、課題を研究しながら、準備を進めたい。



石山秀和

中小規模ため池の老朽化対策は

答 弁 本年度を初年度とする第11次5カ年計画において、県が耐震化整備を実施する

【質問】 今回の西日本豪雨災害で、10万トン以下の老朽ため池の決壊の危険が指摘されている。本市のため池の状況は。

【答 弁】 県が中小規模ため池を対象に耐震性点検を実施し、耐震化整備を推進する。市内では、今年度3カ所を調査し、来年度も予定しており、順次耐震補強工事を実施する。

観音寺スマートーCについて伺う

答 弁 その必要性が認められ、準備段階調査の採択を頂いた

【質問】 どのような工程で事業が進捗していくのかを伺う。

【答 弁】 今後は、利用交通量、位置・構造、周辺道路の整備計画などの概略検討、周辺施設の詳細設計、整備費用および負担区分、供用開始後の管理運営方法を検討し、早期事業化を目指す。

銭形まつりの花火中止について伺う

答 弁 花火の開始時間が近づくにつれ、メイン会場から人が減り続けるので中止とした

【質問】 銭形まつりの花火の中止について多くの市民から質問を受けた。中止の理由は。

【答 弁】 昨年より、ハイスタッフホールをメイン会場にし、花火開始時間が近づくにつれ、メイン会場から人が減り続け中止の場合、どのような影響があるか検証するため取りやめた。



白川雅仁

中小規模ため池の安全対策は

答 弁 必要なものについては補強工事を行い、ハザードマップを作成する

【質問】 中小規模ため池についても、貯水量10万トン以上の大規模ため池と同様の安全対策をとるべきでは。

【答 弁】 防災上重要な中小規模ため池を対象に本年度から耐震性点検調査を行い、耐震化整備が必要なものは補強工事を実施する。その上で、簡易はらん解析システムなどを利用し、関係自治体、各種団体と協議を行い、ハザードマップを作成し、決壊した場合のはらん水の浸水の深さなどの情報を該当地域に提供する。

防災ラジオの貸与状況は

答 弁 市内全世帯の19%

【質問】 防災行政無線からの情報を、より確実に伝達するために、防災ラジオの無償貸与を行っているが、まだ防災ラジオを知らない方もおられる。積極的に啓蒙すべきでは。

【答 弁】 昨年4月から貸与を行い、今年の3月末で4、523台の配布が終了、全世帯の19%の方に使用していただいている。今年度も引き続き500台を購入し、申し込み受付が終了している243台分については今月から配布する。今後も防災情報を確実に伝達できるよう、自治会総会や各種会合などを通じて、防災ラジオの普及に努める。





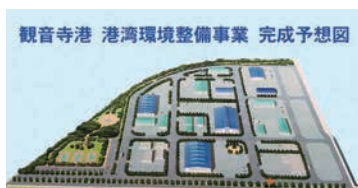
大平 直昭

観音寺港の埋立地の進捗状況は

答 弁
部分的な売却の準備を進めている

〔質問〕 活用が待たれる観音寺港の埋立地事業の進捗状況と今後の予定を伺う。

〔答弁〕 全埋立地のうち、約6ヘクタールについては、売却に向けた手続きおよび基盤整備工事に関する準備を進めている。今後の予定として県は、平成31年度の部分竣工を目指すとともに、残りの部分についても、埋立用土砂の受け入れを進めるとのこと。



観音寺港 港湾環境整備事業 完成予想図

自治会館の駐車場などの整備に補助を

答 弁
検討する

〔質問〕 自治会館整備の補助制度の利用状況を伺う。また、駐車場などの整備も対象となる制度の拡充を提案するがいかがか。

〔答弁〕 平成25年度からの利用状況は、新築4件、改修1件、衛生設備55件、バリアフリー化27件、伝統文化倉庫新築1件の合計88件。また、駐車場などの整備に対する補助は、他の市町の補助制度の状況を注視するとともに、自治会からの要望などの把握をしながら検討する。



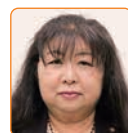
大久保 隆敏

「ため池の日」の制定を！

答 弁
地域社会全体で機運の醸成が必要

〔質問〕 ため池は農業用水の確保だけでなく、自然生態系の保全、地域の憩いの場、また、防災的機能など多面的な機能を有している。更に伝承や、祭りなどの文化・伝統の発祥となっているものもある。ため池は本市にとってなくてはならない施設であり宝である。一点目、ため池をもっと活用すべきと思うが、二点目、ため池を市民が再認識するため「ため池の日」を制定してはどうか。

〔答弁〕 ため池の活用については、ため池本来の利用および維持管理に支障をきたす場合があるので、所有権者、地元水利組合、土地改良区など関係者間において、十分に協議検討が必要であると考えている。「ため池の日」については、地域社会全体でため池に対するさまざまな思いを高めていく必要があり、機運や意識が高まってくれば、次の段階として「ため池の日」について議論を進めていくべきと考えている。



篠原 和代

緊急時の学校対応は

答 弁
市教育委員会から通知文を配布

〔質問〕 警報発表などの緊急時の対応についての指導と周知は。

〔答弁〕 毎年度、当初の校長・園長会において市の対応方針を周知し徹底を図っている。また緊急時の際の学校から保護者へのメール配信も、一方向の通信から安否確認などが可能な双方向の通信システムも10月から導入。

〔質問〕 学校独自の対応マニュアルの内容は。

〔答弁〕 市地域防災計画や市教育委員会の対応方針に即してマニュアルを作成し、教職員の役割分担、児童生徒の被災回避行動、避難経路などを示し、このマニュアルに基づき避難訓練なども実施。

〔質問〕 インフルエンザなど、感染症への対応は。

〔答弁〕 学校保健安全法施行規則による対応を、保護者に徹底、協力してもらい、子どもたちが健康で安全な学校生活を送れるよう指導。



放課後児童クラブの緊急時の対応は

答 弁
学校の対応に準ずる

〔質問〕 保育所、保育園の緊急時の対応は。

〔答弁〕 警報発令時にも基本通常保育。





篠原重寿

国民健康保険制度の安定的運営を

答 弁
法律に基づき、国が一元的に担うべき制度

〔質問〕 国保加入世帯の約8割が年金生活者、非正規労働者などの低所得者。国からの交付金が激減したため、慢性的な赤字体質が現状。①国保制度の基本的考え方。②6月の全国市長会の提言「子ども医療費助成制度導入自治体への国庫負担削減を実施しないこと」についての所感を伺う。③災害などの特別な理由がある場合の、保険料・医療機関での窓口負担の減免制度の適用状況と、制度内容の周知の状況を伺う。

〔答 弁〕 ①国保制度は、加入者の年齢構成が高く、所得水準が低い一方、医療費水準が高く、大変厳しい環境だが、法律に基づく社会保障制度と捉えている。②県内市長会、四国市長会においても同内容の意見となっており、

本市も国に対して同様の考え方。③本市において、災害などによる減免措置の適用事例はない。加入者への制度内容の周知は不十分な状況であり、今後、積極的な周知を図りたい。



井上浩司

終活、最期まで自分らしい人生を送るためには

答 弁
地域で自立した生活ができる取り組みを進めている

〔質問〕 現在、65歳以上の人口は3,000万人を超えており、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築を推進している。

最期を迎える場所として、自宅での看取りについて伺う。

〔答 弁〕 平成28年度末、市内65歳以上の高齢者2,500人に対して行った調査で、「人生の最期を迎えるとき、どこで過ごしたいか」との問いに対し、40・9%の高齢者の方が「最期まで自宅で過ごしたい、自宅で療養したい」と回答しており、自宅での看取りに対するニーズの高さを示す結果となった。

本市では、在宅医療・介護連携の推進を図るため「在宅医療・介護連携推進協議会」を設置し、取り組みを進めている。

また、人生の最期まで自分らしく生きるための備えを進めるため、エンディングノートを作成する動きが全国的に広がっている。

家族や医療・介護に携わる者が情報を共有する手法として有効であることに加え、自らの選択が反映される環境を整備していくことで、行政の負担軽減にもつながるため、活用に関する調査研究を進めていく。



伊丹 準二

市と自治会の関係について

答 弁
自治会の負担を軽減したい

〔質問〕 さまざまな通知が市・社協・公民館から自治会に出されるが、一本化はできないか。

猛暑対策について

答 弁
国への予算要望に努める

〔質問〕 今夏の猛暑を受け、体育館へも空調設備を設置しないのか。

〔答 弁〕 文部科学省に対し、体育館への空調設備設置に関する補助金の予算確保や適正配分について、要望していく。

子育て環境について

答 弁
情勢を見ながら調査・研究したい

〔質問〕 24時間365日母子ともに安心して預けられることができる保育施設を。

〔答 弁〕 24時間保育の利用者数が未定だが、社会情勢を見ながら、調査・研究していく。

国際交流について

答 弁
有意義な交流を継続したい

〔質問〕 アップルトン市と人事交流などを含め検討できないか。

〔答 弁〕 両市の交流を通じ合計300名余りの交流がなされ、非常に有意義な効果を得ており、今後も国際交流協会とも協議し、取り組んでいきたい。





安藤 康次

民間保育所などに対する 防犯対策は

答 井

民間保育所6園のうち2 園で設置している

【質問】 教育施設に対する不審者侵入事件は後を絶たない。110番非常通報装置を民間保育所に。

【答 井】 6園のうち2園で設置。3園では、警備保障会社につながり、警備保障会社から警察署に連絡をし、警察官が駆けつける体制をとっている。公立保育所、幼稚園5施設には警察直通の非常通報装置を設置予定である。

熱波災害について

答 井

小中学校での熱中症対策 は「暑さ指数」にに応じて 判断している

【質問】 「熱波災害」に対して地域防災計画などの見直しを。また、学校における「熱中症対策」について伺う。

【答 井】 熱波による地域防災計画の見直しなどの変更は予定していない。防災行政無線での「熱中症注意」放送は検討する。例えば中学校では、部活動における熱中症対策は「暑さ指数」31℃以上の場合には中止するなどの対応をしている。



合田 隆胤

ヘルプマークの周知や 啓発活動は

答 井

普及・啓発活動に取り組 んでいく

【質問】 義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方が、周囲の方から援助や配慮を受けやすくなるよう身につけるヘルプマークについて、本市では具体的にどのような周知や啓発活動を行っているか伺う。

【答 井】 ヘルプマークの持つ意味や役割、身につけた方を見かけた際には、どのような行動を取ればよいのか、十分に理解・認識しづらいところがあるが、市民の皆さまにヘルプマークを認識し、思いやりのある行動をしていただくことが大切である。そのため、今後更に理解を深めていただくために、市のフェイスブックで説明を動画配信したり、市が開催する会議などで説明するなど、市民の視点に立ち皆さまにわかりやすい方法で、普及・啓発活動に取り組んでいく。



藤田 均

危険ブロック塀の撤去 補助創設を

答 井

国・県を参考に、民間に も対応を目指す

【質問】 6月大阪北部地震で、ブロック塀の下敷きで女兒が死亡し、国の緊急調査では危険が深刻だ。①学校の危険ブロックはいつ解決するか。②通学路や市・県公共施設、民間ブロック塀の調査や撤去計画は。

【答 井】 外観上の点検だが①特に危険なものは既に撤去済み。基準外で道路に面するものは、今年度中にフェンスに取り換えたい。②市施設は早期に対策を講じ、他の公共・民間施設には適正管理を要望・啓発する。

豪雨で市河川堤防が決壊したら？ 財田川は防災マップの浸 水想定だ

答 井

財田川は防災マップの浸 水想定だ

【質問】 豪雨により倉敷市真備町は河川堤防が決壊し、大浸水した。財田川下流は70年に一度の豪雨で防災マップのように2mから5m浸水する所も。財田川、作田川、一の谷川などの堤防整備計画は。

【答 井】 作田川流域防災マップは県に作成を要請。堤防は10年ごとに3期計画で整備し、優先度の高い箇所はこの5年間で整備予定。





五味 伸亮

室本・新田地域の排水
対策改善を提案

答 井
要望する
芋扱大水門の活用を県に

〔質問〕 有明浜に接する室本・新田地域は、その地形から大規模な降雨災害時以外でも排水が間に合わず、対応が応急的であることから、抜本的な排水の見直しを望む声がある。

芋扱川と有明浜の接続部分に設置されている水門は主に二か所で、関谷水門は地元自治会管理のもと開閉されているが、大水門は災害時でも締め切られている。芋扱川の本流から有明浜に最も近く、開門が叶えば地域の排水対策に大きな効果が期待できるものと考えている。水門の開門の可能性と今後の対応について伺う。

〔答 井〕 ご指摘の大水門は、過去には一度だけ大雨による増水時に、開閉を行ったとのこと、以降これまで活用されていなかったようである。今後は、頻発するゲリラ豪雨や台風による洪水対策として、この大水門の活用も見込まれることから、適切な維持管理などについて、県に要望していきたい。



掲載できなかった一般質問

氏 名	質 問 件 名
白川 雅仁	● 感震ブレーカーの普及について ● 指定避難所について
篠原 重寿	● 教職員の働き方について ● 財政状況について
井上 浩司	● 小学生のプログラミング教育について
安藤 康次	● 働き方改革について ● 災害時における住民の避難行動について ● 人口減少対策としての高齢者施策の充実について

氏 名	質 問 件 名
合田 隆胤	● 大野原いきいきセンターについて ● SNS などの情報発信について
藤田 均	● 介護保険の利用料軽減について ● 三豊総合病院の定額診療と時間外選定療養費の変更について ● 本市の小規模事業所への官公需の拡大について
五味 伸亮	● ファミリープール跡地の活用について

「市民と議会のつどい」の報告 ご参加ありがとうございました

第1部：議会報告会

第2部：市民フォーラム

「地方創生を可能にする まちづくり×インバウンド」

市議会は、恒例の議会報告会と市民フォーラムを、ハイスタッフホールの小ホールにて、同時開催いたしました。

第1部は、議会報告会を開催し、各委員会から、今年度の委員会視察の報告を行いました。

第2部は、一般社団法人日本インバウンド連合会理事長の中村好明氏による「インバウンド」について講演がありました。

アンケートへの貴重なご意見、本当にありがとうございました。今後の議会運営に生かしていきたいと思っております。

※アンケート結果は、ホームページをご覧ください。



議案の審議結果 平成30年第3回(9月)定例会

●全会一致の議案

議案番号等	議 案 名	議決結果
認定第2号	平成 29 年度観音寺市施設貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第3号	平成 29 年度観音寺市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第4号	平成 29 年度観音寺市国民健康保険伊吹診療所特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第6号	平成 29 年度観音寺市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第7号	平成 29 年度観音寺市航路事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第8号	平成 29 年度観音寺市栗井財産区特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第9号	平成 29 年度観音寺市栗井坂瀬山林特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第10号	平成 29 年度観音寺市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第11号	平成 29 年度観音寺市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃
認定第12号	平成 29 年度観音寺市水道事業会計決算認定について	〃
議案第67号	観音寺市附属機関設置条例の一部改正について	原案可決
議案第68号	観音寺市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	〃
議案第70号	観音寺市都市計画税条例の一部改正について	〃
議案第71号	観音寺市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第72号	観音寺市立学校条例の一部改正について	〃
議案第73号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同 意
議案第74号	平成 30 年度観音寺市一般会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第75号	平成 30 年度観音寺市施設貸付事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第76号	平成 30 年度観音寺市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第77号	平成 30 年度観音寺市航路事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第78号	平成 30 年度観音寺市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	〃
議案第79号	工事請負契約の締結について	同 意
議案第80号	平成 30 年度観音寺市一般会計補正予算(第4号)	原案可決

●賛否の分かれた議案

※議長は可否同数の場合のみ裁決権があります。 ※○…賛成 ●…反対 欠…欠席 退…退席

議 案 名 等		議 員 名																				議 決 結 果
		合田隆胤	白川雅仁	藤田均	五味仲亮	篠原重寿	豊浦孝幸	篠原和代	友枝俊陽	石山秀和	大平直昭	立石隆男	伊丹準二	詫間茂	安藤康次	井上浩司	大久保隆敏	井下尊義	大矢一夫	大賀正三	秋山忠敏	
認定第1号	平成29年度観音寺市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認 定
認定第5号	平成29年度観音寺市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	〃
議案第69号	観音寺市税条例等の一部改正について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

※自民…自民新公会 壮志…壮志会 公明…公明党 社民…社会民主党 共産…日本共産党

